

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後倶楽部りらく		公表日		令和8年 1月 5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・机の位置を用途に合わせて替えたりと、広く使えるように工夫している	・基準は満たしてはいるが、限られたスペースを広く使えるように日々思案中
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・定められた配置人数は適切である	・職員の数が増やしていきたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・用途に応じた部屋に分かれている事は周知されている	・玄関が少し高いが、腰をかけて靴を履いたりできるので問題はない ・必要箇所には手すりを設置している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・常に清掃、消毒、換気に気を配っている ・様々なパターンを考えながら、危険箇所がないように配慮している	・継続する
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・体調が悪い時だけでなく、気持ちを落ち着かせたいときに一人になれる部屋を用意している	・継続する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・ミーティングやモニタリング会議など職員同士で積極的に意見交換をしている	・ミーティング開催を増やし、丁寧に周知していきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の意見等は迅速に職員間で共有し、改善できるように努めている	・継続する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・SNSも活用しながら日々意見交換をし、改善につなげている	・継続する
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・学校、支援学校、基幹相談支援センター、相談員の見学を随時承り、評価いただいた利点は伸ばし、改善点があれば直ちに改善している	・継続する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・正職員は行政が行う研修会等に参加を義務としている ・法人内で定期的に研修を開催している	・継続する
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・適切に作成し、HPに掲載している	・保護者にわかりやすく公表できるように思案中
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・職員同士で常々個々のアセスメントを行い、保護者と目標相談をしながら支援計画書を作成している	・継続する
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員の意見を参考にして作成している	・継続する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員はいつでも閲覧できるように文書化している	・更にミーティングを増やしていきたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者からの検査結果、自宅・学校・事業所内での様子等を基に、適宜プログラムを確認している	・継続する
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・保護者と目標から相談をし、適切に設定している	・継続する
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・責任者の発案を基に、全職員の意見を聞きながら立案している	・ミーティングを増やしていきたい

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・SNSや本等を活用したり、学校と連携をとり個々の取り組みを考慮しながら工夫するようにしている	・チャレンジしていけるプログラムが増えるように日々努力していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別、集団を考慮し作成・支援している	・継続する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・その日勤務の職員全員で確認している	・継続する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・SNSも活用しながら日々意見交換をし、改善につなげている	・継続する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録をとる職員を決め、随時検証・改善できるようにしている	・継続する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリング会議を開催し、協議している	・継続する
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・個別、集団共に基本活動を意識してプログラムを立案し、支援している	・地域交流の機会を増やしていきたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・選択の幅を多く持てるように配慮している	・継続する
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・直接支援に関わる職員が必ず参加するようにしている	・継続する
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要があればいつでも連携がとれるようにしている	・継続する
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・送迎時や電話等で随時情報共有し連絡をとっている	・継続する
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・児童発達支援事業所とは連携をとっている ・必要であれば保育所等とも連携をとる	・継続する
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・申し出があれば対応している	・継続する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・検討する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・地域に児童館もなく、各学校の児童クラブと交流することも難しい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・必ず参加している	・継続する
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡ノートの活用、また送迎時に話ができるように余裕を持たせている	・いつでも話し合いができるように提案していきたい	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・検討する	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・運営規定、利用者負担等に関しては契約時に丁寧に説明をしている	・支援プログラムはHPに掲載しているが、周知できるように努める
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・送迎時、電話、SNS、目標相談シートを作成し、保護者の意向を確認できるように努めている	・継続する
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・必ず面談をとり、同意を得るようにしている	・継続する

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談があれば、相談員や学校とも連携をとり速やかに対応している	・継続する
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・検討する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・そのような場合があれば、迅速に対応する	・周知する必要がある時は対応する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月のお便り、Instagramに注力している	・HPをもっと活用し、活動概要や行事予定等の詳細を掲載していきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・留意している	・継続する
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・こどもには具体的で簡単な指示を心掛けている ・保護者にはSNSや文書を使って残せるようにしている	・個々に対応していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	・職員間では周知事項として取り扱っているが、保護者には周知できていない事項もある	・定期的に訓練はしているが、通知不足の為、周知されていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、児童と共に避難所等確認をしている	・訓練の回数をもっと増やしていきたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に確認している ・利用時に保護者からの連絡ノートに詳細を記入いただくようお願いをしている	・継続する
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者から医師の指示書をいただくようにしている	・継続する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・必要な研修には参加し、安全管理は十分にされているが、訓練等は不足していると感じている	・わかりやすい安全計画を再考中 ・訓練を増やす
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	・災害時等の避難場所等は伝えているが、安全計画書は周知できていない	・速やかに安全計画書を周知できるように検討する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内で話し合いの機会を作っている	・継続する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・行政の虐待防止研修に必ず参加している	・継続する
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・そのような事案があれば、保護者への説明をし了解を得て行う	・継続する	